

ひがしの子

令和4年7月1日

岐阜市立岐阜東幼稚園

園長 藤井 佐由美

今週は、36度や37度を超える気温で、40度に迫る大変暑い日が続きました。日本各地では熱中症警戒アラートが発令される事態となり、子どもたちは水遊び以外は、保育室で過ごすようにしました。命の危険を感じる暑さでしたね。このような暑さの中では、子どもたちにとってマスクをしていることが、かえってマイナスになることがあります。そのため基本的に、給食配膳時、歌をうたう活動以外は、マスクをはずして生活したいと思いますので、ご理解・ご了承のほどよろしくお願いいたします。

保護者の希望で、子どもにマスクを着けさせたい方がいらっしゃいましたら、幼稚園までご相談ください。

こあら組は、小さなプールに身を寄せ合って、冷たい水の感触やペットボトルのシャワー、塩ビ管からのシャワーなど、全身で感触を味わいました。雨どいを使って、いろいろなものを流したり、的に向かって水を放射したりして遊ぶ子どももいました。その中でタイミングを合わせる姿が多く見られるようになってきました。

好きな絵本を何冊も「読んで！」と持ってきては、毎回、同じところで笑っています。そのうちなんとなく台詞を覚えて、子どもたちが上手に読んでくれるようになりました。だまって聞いていると、本当に可愛らしくてキュンとします。転がるものに興味があり、いろいろなものを転がしたり、箱と箱をテープでくっつけできた喜びを感じたりするようになりました。以前は力任せにしていたテープの切り方も少しずつ上手になってきました。職員室に入るときには、教えてもらったように覚えて、「おじゃまします！」と言ったり、「絵本見せてください！」と真似して言ったりできるようになりました。

友達とのやりとりも、大人の言葉を真似して「貸して!」、「いいよ」(「だめよ」の時もありますが…)、「代わって」、「僕が先に座ってたんだよ!」、「見せて〜、お願い!」など、豊富な表現になってきました。しかし、自分の思いが受け入れられないと、すごい勢いで怒り出すところも3歳児らしい姿です。ぼちぼちですよ。

なつめ組は、イメージしたものをこだわって作る姿が多く見られます。しかも、こだわったところを誰かに伝えたくて、「ここにポケットがあるんだよ。」、「ここから見えるようになっているの。」、「これをひっくり返すとね…」、「ここから音楽、聞こえてくるよ。」など、作品自慢が顕著です。すぐに完成しなくても、時間をかけて仕上げようとしていたり、一度作った物を手直ししたり、更に飾ったりする姿も見られます。今は、室内のままごとや戸外でのカフェが盛んです。カフェではメニューが登場しました。石鹸を削って泡だて器でホイップしながらきれいに飾っています。

可愛らしいエプロンも作ってカフェの準備をしていました。プールが始まったことで、なかなかお客さんが来ないのですが、時々小さなお客さんが見に来ることもあります。うんていが好きで、（こあら組のころから好きでしたね。）、何度も挑戦しています。この暑さの中よく挑戦するなあと感じています。昨日の研修会の折にも他園の先生たちに、一人ひとりが自分のできることを見せていました。

たいよう組は、夏祭りの準備に一生懸命です。1学期に遊んできた砂場での仕掛けをきっかけに、水を上にあげて一気に流すという仕組みを試行錯誤して創り上げてきました。それを、夏祭りのコーナーにも生かすようです。水遊びでも、水の流れを利用して勾配を考えながら雨どいやペットボトルの筒を組んでいきました。高さを出すためにおわんやカップを重ねたり、それでもうまく高さが出ないとビールケースを持ってきたりして試行錯誤していました。滑り台の上と下で、「行くよ〜!」、「まだ、ここが繋がってない〜」と声を掛け合いながらバケツで水を運び、滑り台の上まで上げて流していました。そのうちに、以前から考えていた水をもっと簡単に上まで運べる方法を考え、Aさんが持ってきてくれた滑車を使って、ロープで吊り上げる仕掛けを作り、大成功しました。目的達成のために、「白いもの」を集めたり、どれがうまくいくかを試したりして、少しずつ自分たちで夏祭りの準備を進める活発な姿が見られます。



《7月の保育について》

【3歳児】

- 先生や友達と一緒に思いきり水の感触を楽しむ。
- 先生や友達に自分なりの表現で思いを伝えようとする。

【4歳児】

- 友達に自分の思いを言葉や身振りで伝えて遊ぶ。
- 友達や先生と一緒に水の感触を体全体で楽しむ。

【5歳児】

- 自分の思いや考えを伝えながら、友達の思いも知ろうとする。
- 自分なりの目標をもち、工夫したり、試したりして遊びを進めることを楽しむ。



大変暑い中、プール参観ありがとうございます。

プールを楽しむには、気持ちの良い暑さでした。

子どもたちは、日頃の水遊びに加えて、プールの水の深さから体が浮く感じを味わったり、体全体で水の抵抗を感じたりして楽しんでいます。なつめ組やたいよう組の子どもたちは、少し水に顔を付けられることも嬉しいようです。こあら組も、7月からは、大きいプールで遊んでいます。足をバタバタさせたり、肩まで浸かったりして水の感触をたっぷり味わい、堪能しています。

